

十合併商工会の新たな船出

「魅力ある商工会」「なくてはならない商工会」を目指して

去る平成十七年三月二十三日、県庁十階 産業経済部会議室において、遠藤正明産業経済部長より、平成十七年度四月一日に合併した多賀城・七ヶ浜商工会、大崎商工会、登米中央商工会、みやぎ北上商工会、登米みなみ商工会、南三陸商工会、石巻かほく商工会、河南桃生商工会、石巻市牡鹿稲井商工会、本吉唐桑商工会へ各々合併認可書が交付されました。

《目指すべき商工会構築のための十四のアクション》

I 組織強化

- ① 会員に支持される商工会にしよう。
- ② 役員のリーダーシップを発揮しよう。
- ③ 職員の意識を改革しよう。
- ④ 組織体制を見直そう。

II 元気な企業の育成

- ⑤ 指導・支援を充実しよう。
- ⑥ 創業・経営革新支援を充実しよう。
- ⑦ ビジネスチャンスの拡大を図ろう。
- ⑧ 商工会ビジョンを策定しよう。
- ⑨ 地域づくり・まちづくりを提言しよう。
- ⑩ 地域経済を活性化しよう。

III 地域づくりの推進

IV 財政基盤強化

- ⑪ 中・長期計画を策定しよう。
 - ⑫ 自己財源を拡大しよう。
 - ⑬ 補助金の制度化を推進しよう。
 - ⑭ 経費を削減しよう。
- ※「合併商工会あり方研究会報告書」より抜粋

県商工会連合会は、合併商工会が新体制のもと「会員にとつて魅力ある商工会」「地域になくてはならない商工会」を目指すために、十四のアクションの実践に一緒になって取り組むなど新たな商工会活動を支援していくこととしております。

平成十五年度中に合併したみやぎ仙台商工会、加美商工会、十六年度中に合併した若柳金成商工会、栗駒鶯沢商工会、栗原南部商工会、一迫花山商工会、東松島商工会と合わせ、合併商工会は十七商工会となります。

このように行政合併等も含めた大きな動きの中で商工会合併も大きく進み、平成十四年四月一日当初は県内に六十一年四月一日には、四十一商工会に再編されました。現在も平成十七年度中の合併に向けて、協議を進めている広域エリアもごさいます。

本会では平成十六年度事業として、会員事業所に対するサービス向上と広域化する多様な小規模事業者のニーズに十分対応できるよう、商工会新たな商工会のあり方を研究

